

第57回原子爆弾後障害研究会

日時：2016年6月5日
場所：長崎原爆資料館

	講演集	長崎医誌 (2016年)	文献 番号
特別講演			
原子力災害と医療人 ―広島・長崎、チェルノブイリから福島復興支援を通じて― 山下 俊一	1～5	91 : 145-149	2391
シンポジウム「国の新しい放射線災害対策機構」			
1 長崎大学における原子力災害医療への取り組み ～ REMPAN の活動から福島第一原発事故対応と今後の活動～ 高村 昇・宇佐 俊郎・田崎 修・山下 俊一	6～9	91 : 150-153	2392
2 国の新しい放射線災害対策機構 ―「原子力災害医療派遣チーム」に焦点をあてて― 長谷川有史	10～13	91 : 154-157	2393
一般演題			
1. 近距離被爆生存者に関する総合医学的研究 第29報 大線量被爆生存者78名の被爆後70年までの追跡調査結果 鎌田 七男・(故)湯崎 稔	14～18	91 : 158-162	2394
2. 長崎原爆病院患者における被爆者追跡集団の構築 横田 賢一・相川 忠臣・重松 和人・谷口 英樹・近藤 久義・ 三根真理子・平野 明喜	19～22	91 : 163-166	2395
3. 広島大学原爆放射線医学研究所蔵 アール・レイノルズ資料について： 医学記録資料の活用に関する一考察 久保田明子・杉原 清香・瀧原 義宏	23～27	91 : 167-171	2396
4. これからの被爆者検診：超高齢者検診の実情分析と新たな試み 佐々木伸夫・内藤久美子・足免 弘章・宮本 淑子・前田 亮・ 門前 裕子・張本 和江・毛利 周子・加藤 博也・川西 昌弘・ 吉良さくらこ・石田 啓・藤原佐枝子	28～31	91 : 172-175	2397
5. 広島平和宣言における単語出現頻度に基づく広島平和観の経時変化について 富田 哲治・佐藤 健一・和泉志津恵	32～35	91 : 176-179	2398
6. 放射線被ばくに対するDNA損傷応答および組織反応の年齢依存性 鈴木 啓司	36～39	91 : 180-183	2399
7. ATMとDNA-PKによるDNA二本鎖切断同士の会合の抑制 山内 基弘・柴田 淳史・鈴木 啓司・鈴木 正敏・新美 敦子・ 近藤 久義・三浦 美和・平川美弥子・山下 俊一・松田 尚樹	40～42	91 : 184-186	2400
8. RAD51による相同組換え修復の制御機構 堀越 保則・福戸 敦彦・孫 継英・時 林・田代 聡	43～45	91 : 187-189	2401
9. 構造関連蛋白質Matrin3とDNA損傷修復蛋白質RAD51の相互作用の解析 時 林・孫 継英・木野村愛子・福戸 敦彦・堀越 保則・ 田代 聡	46～48	91 : 190-192	2402
10. ガンマ線持続照射環境での細胞運命制御メカニズムの解析 河合 秀彦・曹 麗麗・金井 昭教・稲葉 俊哉・神谷 研二	49～52	91 : 193-196	2403
11. 広島大学におけるDS02準拠の原爆線量評価体系（ABS16D）の実装について 佐藤 健一・富田 哲治・大谷 敬子・佐藤 裕哉・原 憲行・ 川上 秀史・瀧原 義宏・星 正治・大瀧 慈	53～57	91 : 197-201	2404
12. 原爆被ばくに関連する医学記録の再評価～京都帝国大学原爆調査班資料地図化の試み 杉原 清香・久保田明子・佐藤 裕哉・佐藤 健一・瀧原 義宏	58～61	91 : 202-205	2405
13. 広島原爆被爆者位置情報の拡張の試み 佐藤 裕哉・佐藤 健一・富田 哲治・原 憲行・布施 博之・ 大谷 敬子・川上 秀史・瀧原 義宏・星 正治・大瀧 慈	62～65	91 : 206-209	2406

14. 広島原爆における粉じん被曝の健康影響について ー 陸軍船舶特別幹部候補生アンケート調査を用いてー 大谷 敬子・大瀧 慈	66~71	91 : 210-215	2407
15. 広島原爆被爆者における後障害の主要因は放射性微粒子被曝である 大瀧 慈・大谷 敬子・富田 哲治・佐藤 裕哉・原 憲行・ 川上 秀史・瀧原 義宏・星 正治・佐藤 健一	72~79	91 : 216-223	2408
16. 東日本大震災後の福島県川内村住民の生活習慣と精神的健康度評価：福島県県民健康調査 吉田 浩二・新川 哲子・浦田 秀子・林田 直美・矢部 博興・ 前田 正治・大津留 晶・高村 昇	80~82	91 : 224-226	2409
17. 東日本大震災の子どもたちへの影響～子どもの強さと困難さ尺度 (SDQ) を用いて～ 徳永 瑛子・岩永竜一郎・大石 和代・花田 裕子・森藤香奈子・ 山本 直子・折田真紀子・吉田 浩二・井口 茂・浦田 秀子・ 前田 正治・大津留 晶・矢部 博興・松坂 誠應・田中 悟郎・ 中根 秀之	83~85	91 : 227-229	2410
18. 福島県川内村における子育て世代の抱える多重ストレスに関する質的研究 森藤香奈子・大石 和代・花田 裕子・山本 直子・折田真紀子・ 徳永瑛子史・岩永竜一郎・吉田 浩二・井口 茂・浦田 秀子・ 大津留 晶・矢部 博興・松坂 誠應・田中 悟郎・中根 秀之	86~89	91 : 230-233	2411
19. 福島県川内村における食品中の放射性セシウム濃度の評価 折田真紀子・土屋 りみ・福田 俊樹・林田 直美・高村 昇	90~92	91 : 234-236	2412
20. 看護学生における放射線に関する知識とイメージ調査 山口 拓允・新川 哲子・浦田 秀子・吉田 浩二・永田 明・ 高村 昇	93~96	91 : 237-240	2413
21. 原爆被爆者の白血球テロメア長とそれに関連するバイオマーカーに及ぼす放射線被ばくの長期的影響 林 奉権・Ana Lustig・Ivo Shterev・Susan Geyer・Alvin Shi・ 吉田 健吾・梶村 順子・林 幾江・京泉 誠之・楠 洋一郎・ 大石 和佳・中地 敬・Nan-ping Weng	97~101	91 : 241-245	2414
22. 原爆放射線のヒト免疫応答に及ぼす影響 第28報： 原爆被爆者における循環性造血幹細胞と前駆細胞 楠 洋一郎・京泉 誠之・梶村 順子・三角 宗近・久保 美子・ 山岡 美佳・吉田 健吾・林 奉権・大石 和佳・中地 敬	102~107	91 : 246-251	2415
23. 長崎市原爆被爆者における地理データを含む包括的環境要因と癌罹患率との関連 近藤 久義・早田みどり・横田 賢一・三根真理子	108~111	91 : 252-255	2416
24. フォールアウトの影響と思われる広島早期入市者の慢性骨髄性白血病 高木 信彦	112~117	91 : 256-261	2417
25. 原爆被爆約70年後発生乳癌について 前田 亮・吉良さくらこ・川西 昌弘・門前 裕子・佐々木伸夫・ 内藤久美子・加藤 博也・石田 啓・藤原佐枝子	118~121	91 : 262-265	2418
26. 全エクソーム解析とゲノム編集法を用いた遺伝性小頭症の発症機構の解析 宮本 達雄・政綱 規・細羽 康介・森野 豊之・川上 秀史・ 山本 卓・清水 健司・大橋 博文・松浦 伸也	122~126	91 : 266-270	2419
27. ラット放射線誘発甲状腺がんの年齢影響とオートファジー関連遺伝子の発現解析 松山 睦美・川副 靖晃・七條 和子・松田 勝也・三浦 史郎・ 中島 正洋	127~130	91 : 271-274	2420
28. 放射線被ばくによる心血管疾患リスクに関する実験的評価 羅 蘭・西 弘大・YAN CHEN・浦田 芳重・工藤 崇・ 李 桃生	131~133	91 : 275-277	2421
29. Effects of gamma irradiation delivered at different dose rates on endothelial-monocyte interaction Elena Zaharieva・Hidehiko Kawai・Toshiya Inaba・Shinya Matsuura・ Kenji Kamiya	134~137	91 : 278-281	2422

第57回

30. 放射線発がん高感受性モデルマウスを用いた低線量放射線発がんリスク評価 笹谷めぐみ, 飯塚 大輔, 神谷 研二	138~140	91 : 282-284	2423
31. 緊急被ばく医療体制から原子力災害医療体制へー福島原発事故の経験から学ぶー 神谷 研二	141~145	91 : 285-289	2424
32. 低線量放射線が着床前期胚の発生に与える影響 清水なつみ・河合 秀彦・笹谷めぐみ・遠藤 充浩・稲葉 俊哉・ 神谷 研二	146~148	91 : 290-292	2425